

# 金浦都市計画区域が変更（拡大）されます

市には、仁賀保、金浦、象潟の3カ所の都市計画区域があり、全体の区域面積は1,643haとなっています。

都市計画区域は、将来の良好な住環境の確保や土地利用の促進を図るために設定されているもので、宅地開発計画等を含め

た将来計画に即した区域の変更、見直しを行う必要があります。

## 金浦都市計画区域を 将来計画に即した区域に

仁賀保・象潟の都市計画区域は、現状あるいは将来計画に基づいて変更を重ねてきました。



## 金浦都市計画区域 編入予定区域

大字	小字
黒川	三嶽前、三嶽後、三嶽新田、南別当森、平森、大森、岩潟、白山新田、白金田、潟頭、平石
飛	堂宝作新田、堂宝作、餅田、高森、中飛、中飛新田、鷲森、鷲森新田、雨谷地、石橋、飛谷地、釜木森、内平
金浦	中谷地、下谷地、クツ原、高森、砂田、赤石、石廻、川向、十二ノ前、笠森、備中、金沢、館ヶ森、大在神、六貫森、背長森、谷地中、堀切、鳥長根、十二林、吉森、古賀の田、唐蚊の森、山の田、花洞、頃田
前川	新畑、西山新畑、中ノ森

金浦都市計画区域は、昭和44年5月以来、区域の変更を行っていないため、その後の高度経済成長等による、工業団地の形成や金浦駅東地区の住宅分譲開発が急速に進むなど、都市計画区域が現状の市街形成にそぐわない状況にあります。そのため、無秩序な開発や建築物の建設等を適正に規制できない状況でもあります。

「日沿道」等が拡大要因

今後、まちづくりを進めていくうえでも都市計画区域を早急に見直しすることが必要となるています。

市では、こうした状況を勘案し、すでに開発されている臨海工業団地周辺、金浦駅東側住宅地域を現在の都市計画区域に加えるとともに、「日本海沿岸東北自動車道金浦IC建設計画」に伴い、土地開発が予想される国道7号バイパス周辺を追加して区域を拡大します。

## 金浦都市計画 区域変更説明会

- ◇とき 3月23日(金)  
午後7時~
- ◇ところ 金浦勤労青少年ホーム  
2階 軽運動室

問合先 都市整備課都市整備係  
☎ 38-4307



意見書を提出する三浦会長（写真左）  
と佐々木副会長（中央）

## 総合文化センター建設 基本構想報告書 を提出



委員会の代表が市長に報告書を提出  
(写真左から眞嶋さん、大川さん、中津さん)

3月1日、「仁賀保中学校建設に関する意見書」が、検討委員会（三浦悦朗会長）から提出されました。現在の仁賀保中学校は昭和36年に建設され、建物の老朽化により安全面や機能面の低下が進み、建て替えの必要性が生じています。今回提出された意見書は、自然環境を生かした学校づくりや生徒にとって居心地のよい快適な空間づくりなどを基本方針としてまとめられ、より充実した教育環境の整備を求めています。市では今回の意見書を受け、仁賀保中学校建設を計画していく予定です。

【建設検討委員】	
敬称略	
三浦 悅朗	眞嶋 葉子
佐々木 喜代子	竹島 喜久男
(平沢 阿部 工藤 三浦 口川 阿部 櫻井 佐藤 中村 高橋 佐藤 幸一)	(浜畠 宮嶋 由美子)
(扶幾子 孝子 歩美 吉松 誠三 武弘 茂和 亨 宣久 房士 一彦 幸一)	(下荒屋 竹島 喜久男)
(育子 (前寺 鈴 (冬師 釜ヶ台 (三森 (仁賀保中学校長 (仁賀保中学校長)	(上浜ノ町 (南金浦区 北金浦1区)
(前寺 鈴 (冬師 釜ヶ台 (三森 (仁賀保中学校長 (仁賀保中学校長)	(室沢 (室沢 (駅通り区 (駅通り区 (立石1区)

## 市街地を中心に光通信サービス導入 ～Bフレッツ（光通信サービス）導入要望書へ回答～

2月27日、NTT東日本の秋田支店長らが市役所象潟庁舎を訪れ、Bフレッツ（光通信サービス）の導入要望書に対する回答書を横山市長に手渡しました。

以前から市に対し、光通信サービスを求める市民の声が多く寄せられ、昨年11月22日、1,000件を超える要望書を「誘致をすすめる会（佐藤作内会長）」がNTTに提出していました。現在、今年の6月中のサービス開始を目指し、市街地を中心工事が進められているところです。

